

1月8日(水)、3学期が始まりました。

新学期が始まりました。始業式では校長先生より、初めに昨年の元旦に起こった能登半島地震と9月の奥能登豪雨で亡くなられた方々のご冥福を祈るとともに、被災地の1日も早い復興を願いながら皆さんとともに被災した方々に心を寄せていきたいと話されました。さらに、和歌山に住んでいる私たちも人ごとではなく、南海トラフ地震がこの30年間で80%程度の確率で起こると言われている中、災害についての準備や地震が起こったときの避難三原則を思い出してもらいたいと話されました。

次に、今年の干支(巳年)について、「蛇は脱皮を繰り返しながら成長していきます。人に例えると節目がその脱皮にあたり、『3年生は卒業式がある3月、1,2年生は新学期が始まる4月の節目(脱皮)に向けてこの3ヶ月間充実した日々を送って欲しい』『3年生は進路実現に向けて悔いのないようベストを尽くすとともに後輩達に見本となる姿を見せて欲しい』『1,2年生は先生や先輩方から色々学びながらレベルアップして新学期を迎えて欲しい』」と話されました。

進路部長の安原先生からは、ノーベル平和賞を受賞した「日本被災団」の方々に対するスカンジナビア航空の接客についての話がありました。授賞式からの帰りの飛行機で、ご高齢の受賞者の方々に対する席の配慮や機内で感謝と平和を祈るメッセージが流れたことについてふれ、この接客のように周囲を見て気を配れる人になりたいと話されました。また、3年生に対して、「チーム(クラス)一丸となって協同しながら進路実現に向けて頑張りたい」、1,2年生には「進路決定から進路実現に向かって頑張りたい」とエールを送られました。そして、最後に今年も一年よい年になることを祈っていますと話を締めくくられました。

